江刺市街地エリア開発整備構想（案）に係る意見公募（パブリックコメント）手続の結果について

1 意見公募（パブリックコメント）手続の実施概要

- (1) 意見募集期間 令和7年2月28日（金）～3月21日（金） ※ 計画案公表日は、意見募集期間初日に同じ
- (2) 閲覧場所 市ホームページのほか、市役所政策企画部未来羅針盤課、江刺総合支所地域支援グループ
- (3) 意見を提出できる方 市内に在住、勤務、通学している方
- (4) 意見の提出方法 住所、氏名等を明記し、「郵送」、「持参」、「FAX」、「電子メール」のいずれかの方法による。（電話・口頭受付不可）

2 意見の提出状況 提出者12人（うち団体 1人、個人 12人）、意見数12件

3 意見への対応区分と件数

- A：計画へ反映させるもの：一件
- B：計画同趣旨あるいは記載済のもの：10件
- C：計画等に反映させないもの：一件
- D：その他、要望・意見・感想等：2件

4 意見とそれに対する検討結果等

No.	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	区分
1	配置パターン②が良いと思う。 住民が「行ってみたいな。」と思うものが提供できるといい。商業施設、イベントスペースに重点を置いて欲しい。商業施設には映画館を。さらホールが無くなるので、イベントスペースは大事。楽しい地域づくりを一番お願いしたい。災害時に避難所にもなるような屋内スポーツ施設が欲しい。	開発対象エリアは、日常を豊かにするような拠点となることを目指しております。ご意見を踏まえ、次年度の基本計画の策定において機能面の検討の際に参考とさせていただきます。	B
2	子どもの居場所となる建物を是非構想に取り入れて欲しい。 夏の暑さ、冬の寒さから身を守る上でも、年代を越えた交流を図る上でも、予約や使用料なしで自由に利用できる居場所が必要。	開発コンセプトの実現に必要な場所として、「多様な世代が集まり、憩える場所」を掲げ、必要な機能として、「子育て支援機能」をイメージしております。また、市民団体とのワークショップでも、全天候型の子育て環境の実現を求める声が多くありましたことから、基本計画の策定において参考とさせていただきます。	B
3	伝統芸能展示施設について 「江刺鹿踊」は踊り手の後継者不足と高齢化が進んでおり、存続の危機にある。後継者不足を解消するため、一人でも多くの人に鹿踊りを知ってもらうことが先決であり、「江刺鹿踊り伝承館」を検討して欲しい。	経済団体からのヒアリングでも、文化や観光の目玉としての伝統芸能の展示が提案されております。これを踏まえ、具体的な施設例として伝統芸能展示施設も記載しております。エリア面積の制約もありますことから、展示などが可能か検討させていただきます。	B

No.	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	区分
4	導入機能の施設例として、学校の給食メニューが食べられる食堂、スケートリンク、水族館、動物園。	具体的な施設例では、地域の食材が並ぶ飲食スペースやマルシェ、娯楽・レジャー施設もイメージされています。ご意見を踏まえ、開発対象エリアに整備可能なもので、より多くの方々に親しまれる施設となるよう検討させていただきます。	B
5	導入機能の施設例として、地元の中高生がレストランや子ども食堂、NPOの活動拠点等に活用できる施設。また、全国各地の大学生による地方創生の研究やインターンに活用してもらえるような施設。	市民団体とのワークショップでも同様の提案を受けており、具体的な施設例でも、それらが実現できるようなチャレンジショップやコワーキングスペースを想定しており、基本計画の策定において検討させていただきます。	B
6	導入機能の施設例として、将来の夢や職業体験ができる施設または胆江キッズワーカーや北上市の「鬼っジョブ」のようなイベントを定期開催できる機能。地元食材をふんだんに使ったレストラン。リサイクル品が回収できるステーションで環境問題が学べる施設。	子どものうちから職業を学ぶことは、他の子育て支援施設でも導入されている機能でありますので、体験型の機能につきましても検討させていただきます。 レストランにつきましては、No. 5に記載しております。 リサイクルステーションにつきましては、施設のエリア配置の関係上難しいと思われませんが、環境問題につきましては大切な課題であり、機能として導入できないか検討させていただきます。	B
7	山形県酒田市の「無印良品 酒田 POP-UP STORE」のように企業とパートナーシップ協定を結び、衣食住が揃いブランド力もあり女性にも人気のあるテナントを入れて欲しい。夜間交代勤務者が深夜や早朝でも温かい食べ物が食べられる場所、くつろげる場所、街中型の道の駅が欲しい。	今回のエリア開発においては、官民連携による開発手法を導入予定であり、ご提案の種類テナントにつきましては、民間の開発事業者のサウンディングをしながら、皆様にご利用いただける機能を検討してまいります。	B
8	配置パターン②が良い。 学生等の若者が買い物を楽しむ場所、コーヒー等を飲みながら友達とゆっくり話ができる場所があるといい。 既存店舗が閉店するようにならないように、既存店舗に協力してもらい不足しているテナント誘致や店舗増築など相談することもいいのではないか。	日常使いしていただける場所にするのはもちろんのこと、地元での経済循環にも配慮しながら、経済団体との対話も進めてまいります。	B
9	文化交流施設の建設について、子ども達から若者、高齢者が共にコミュニケーションを取れる施設が是非欲しい。規模は500席程度で様々な形態で使用出来る施設が必要。 配置パターンの「地域交流」を「地域・文化交流拠点」とし、地域だけでなく、文化や芸能・芸術にもっとこだわり、高いイメージを持って欲しい。	文化機能としては、文化施設やホール、生涯学習スペースを想定しておりますが、官民連携手法の中でどれだけの機能を包含できるかにつきましては、基本計画の策定において検討させていただきます。	B
10	中心的な建築物は木造にすべき。現在国でも公共建築物を木造にすることを勧められており、建築基準法も大規模木造建築物に対し緩和する方向で改定されている。メインの建物はデザイン性のある木造高層建物で、低層部は「子育て支援」や300人程度収容できる「多目的な音楽ホール」等の複合施設にし、高層部を収益性のあるスペースにすることを提案する。	県産木材の活用につきましては、県を挙げた事業であり、当市におきましても学校において内装で活用する取組などがあります。一方で、外装での活用は維持管理の面でコストがかさむことから、官民連携手法の中でどれだけの活用ができるものか、基本計画の策定において検討させていただきます。	D

No.	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	区分
11	<p>高齢者と子ども達に特化した医療施設が必要。 江刺の「魂」（精神）を表現できる個性的な文化施設が欲しい。文化芸術の複合ビル、数階建ての建物にし、ホール施設以外の階は別の文化目的に使用。例えば江刺にゆかりのある人たちを紹介する施設を併設してはどうか。 宿泊施設や夜間等に気軽に食事できる施設、江刺甚句まつり屋台の収蔵と展示の場も欲しい。</p>	<p>医療施設につきましては、別途地域医療全体の中での検討がなされております。 文化施設につきましては、No. 9 で記載したとおりです。 宿泊施設、飲食スペース、伝統芸能展示につきましては、具体的な施設例として、次年度の基本計画の策定において検討させていただきます。</p>	D
12	<p>「つながりが育む、創造と共生のまち」というコンセプトのもと、地域住民が主体的に関わり育てる場を創出することとし、下記についてご検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの習い事環境の充実や多世代交流の促進 ・奥州市産・岩手県産木材の積極的活用による地域経済と環境への貢献 ・既存施設（江刺総合支所、生涯学習センター、図書館）との連携による相乗効果 ・えさしグリーンパーク廃止に伴う市民プールの整備 	<p>子育て、多世代交流につきましては、No. 2 に記載したとおりです。 木材の活用につきましては、No. 10にも記載しておりますが、なお、地域経済への波及効果や環境面への配慮につきましては、基本計画の策定において検討させていただきます。 江刺総合支所、生涯学習センター、図書館との連携につきましては、機能や施設配置において親和性のあるものにするなど、配慮させていただきます。 プールにつきましては、奥州市公共施設等総合管理計画・個別施設計画において大鐘公園市民プールと前沢B & G 海洋センターのみを存続させることとしております。</p>	B